

平成26年度 第1回 よこはま多世代・地域交流型住宅整備・運営事業者選定等委員会	会議録概要
日 時	平成26年10月14日(火) 15時00分～17時15分
開催場所	関内駅前第二ビル6G会議室
出席者	【委員 5名】青木委員、越智委員、松岡委員、村井委員、矢田委員
欠席者	なし
開催形態	非公開
議 題	1 横浜市持続可能な住宅地プロジェクト(緑区十日市場)におけるよこはま多世代・地域交流型住宅について 2 その他

議事要旨	
開会	
委 員 長	開催
事 務 局	資料の確認
委 員 長	横浜市の保有する情報の公開に関する条例第7条第2項に基づき非公開。
事 務 局	定足数の確認 全員出席。 定足数を満たしていることを報告。
議題1 横浜市持続可能な住宅地プロジェクト(緑区十日市場)におけるよこはま多世代・地域交流型住宅について	
事 務 局	資料2の説明 挨拶
委員・事務局	質疑、意見 【意見】 ①ルートバスについて、早急に必要とは言えないが、20・30年先のニーズも考慮すべき。 ②現在、地域にある資源である地域ケアプラザや学校、自然を生かせるエリアマネジメントができるとうい。 ③看取り対応について、具体的なサービスの計画を事業者に提案させ、それを評価できると良いと思う。 ④元気な高齢者の方の活用も考えてほしい。 ⑤地域ケアプラザとは密に連携をしてもらいたい。 ⑥この地域でこういった施設(医療機関など)が点在しているかなども案内できるように事業者へ情報提供してほしい。

	<p>【質疑応答】</p> <p>①地域の現状のデータなどをとに、どのようなまちづくりをイメージしていますか。 →医療・介護が連携し、健康な状態で住み続けられるまちづくりを想定しています。</p> <p>②近隣の市営住宅との関連はどのように考えていますか。 →近隣の市営住宅は築数十年のもので、整備が整っているため、あまりそこからの住み替えは想定していないが、その他にも様々な住み替えが考えられるため、色々なバージョンを事業者に提案してもらうために公募要項を工夫してもいいかもしれません。</p> <p>③学生をサポートしていくための工夫はどのように考えていますか。 →大学からの協力を得られるように調整を進めています。</p> <p>④省エネ対策の長寿命化についてどのように考えていますか。 →改めて公募要項を整理します。</p> <p>⑤22街区の整備の予定を教えてください。 →20・21街区の整備が終わった後を予定しています。</p>
<p>議題2 その他</p>	
<p>事務局</p> <p>委員・事務局</p>	<p>鶴見会館跡地の進行状況について説明</p> <p>質疑、意見交換</p> <p>【委員より】</p> <p>①委員会としてもオープンの際に顔を出せるとよい。</p> <p>②先行事例に関してはモニタリングが重要。</p> <p>【事務局より】</p> <p>①オープニングセレモニーについては調整中。</p>
<p>閉会</p>	